

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 3 月 31 日

事業名称		民間保育園施設整備補助事業費 [民間保育園施設整備補助事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 2	児童措置費	事業番号	11			
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	保育		課		管理・給付		係	課長名	関田 孝志		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 4			
【施策名】 児童福祉の推進							総合計画書 (ページ)	59			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 民間保育園での保育を希望する保護者				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 0～5歳の児童数(4月1日時点)						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 民間保育園での保育の実施				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 定員の増員数						
	→										
③ そのために何をしましたか。 民間保育園の施設整備を行い、定員増を行う。	→				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 定員の増員数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	人	4,321	4,167	4,167					
	成果指標	②の数値	人	0.0	11.0	0.0					
	目 標	②の目標値		0.0	11	0		75	0		
目標値設定の考え方 定員増をを行い、待機児童解消を図る											
3 経費	事業費(実績)		円	10,840,000	190,750,000	16,084,000		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	1,318,000	31,793,000	3,561,000					
		特定財源	円	9,522,000	158,957,000	12,523,000					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	2,473,200	2,493,000	2,493,000					
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費+人件費		円	13,313,200	193,243,000	18,577,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度		随時								
	(2) 環境の変化 保育ニーズについては、平成31年10月からの幼児教育の無償化や女性の就業率等の増加要因があるものの、これを上回る未就学人口減により、漸減していく見込みである。										

事業名称	民間保育園施設整備補助事業費〔民間保育園施設整備補助事業〕			
担当部署・課長名	保育	課	管理・給付	係 課長名 関田 孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 年間を通じて、保育園の定員拡大に係る要望を受けている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 基本的なスケジュールやマニュアル、タスク管理表等の整備が必要であるとする。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 基本的なスケジュールを作成した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 事業ごとのスケジュール等が違うことに加え、国や都の補助内容も変化するため、マニュアル化が難しい。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 待機児童解消に向け、継続して、事業を実施していく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	保育士の確保への支援 市内の保育施設設置における適地の検討 開設・運営事業者との調整 公募等必要な手続きの準備			